

JF 組合学校 ニュース 22 号

全国漁業協同組合学校 2016. 10. 26

—平成 29 年度(第 78 期)学生募集開始—

創立 75 年目を迎えた全国唯一の漁協系統団体の職員・幹部の養成学校

高校・大学等を卒業し(見込者含)、JF グループへの就職を目指す新卒者と、漁協等の系統団体の現職者を対象に 10 月 1 日から第 78 期の学生募集を開始しました。

平成 26 年度より開始した、漁協等の系統団体の現職者を対象に、学費の一部が減額される学生募集を平成 29 年度は、「入学金・授業料全額免除」に変更して実施いたします。

修業年限は 1 年間で、漁村の中核となる人材育成を目的とし、協同組合の理念に基づき、協同組合論等の基礎 7 科目、漁協経営論等の実務 11 科目の広範な知識を、弁護士・大学教授・専門家・JF グループ現職者等の講師から学びます。

校舎での講義の他に、水産庁・農林中金・JF グループ等に出向く研修と、20 日間以上の夏期漁協実習も実施しています。

また、資格取得においては、日商簿記・パソコン・信用事業・危険物取扱者・フォークリフト等が可能です。

漁協運動の担い手として必要な、自主・自立・互助の精神を体得させる人間教育と寮制の下に、学生の連帯意識と共同精神を養う新しいリーダーを目指す教育を行っております組合学校への入学のご検討をよろしくお願いいたします。募集要項は本校ホームページに掲載中です。

願書受付期間・選考日・合格発表日

	願書受付期間	選考日	合格発表日
第 1 回	平成 28 年 10 月 1 日(土) ～11 月 7 日(月)	平成 28 年 11 月 18 日(金)	平成 28 年 12 月 1 日(木)
第 2 回	平成 28 年 12 月 1 日(木) ～平成 29 年 1 月 16 日(月)	平成 29 年 1 月 27 日(金)	平成 29 年 2 月 9 日(木)

—平成 28 年度(第 77 期)学生について—

充実した特別講義等を 14 人の学生が体験

7 月 5 日(火) JF 全漁連トップセミナー

代表理事専務長屋信博氏より「水産日本の復活に向けて、今、何をなすべきか 一生産・流通構造の改革にどう取り組んでいくか」のご講義をいただき、その後、JF 共水連、漁済連、JF 全漁連のご担当者からの概要説明と事務所見学を行いました。最後に JF 全漁連総合管理部人事担当次長から「就職活動の心構え」の講義を受けました。ご指導下さいました団体に感謝申し上げます。

7 月 12 日(火)～ 漁協実習の実施(20 日間以上)

実務教育の一環として夏期休暇を利用して全国 13 カ所の漁協・県漁協で実習を行い、荷受・販売・加工業務・事務などの実体験をしました。

実習を経験して、学生全員が漁協の業務内容や漁協運動の重要性について理解を深めることができました。実習を受入れて頂きご指導下さいました団体に感謝申し上げます。

9月20日(火)～21日(水) 実地研修

千葉県東安房漁協、千葉県水産総合研究センター、千葉県銚子市漁協、(株)ぎょれん鹿島食品センター(茨城県)に1泊2日で充実した内容の実地研修を行いました。房総半島最大の漁協や千葉県の栽培漁業に貢献している施設、水揚量日本一の漁協の近代的な取り組み、衛生管理を徹底した食品センターの施設見学は学ぶ事が大変多い充実した研修となりました。お忙しい中、学生を受け入れていただきました各団体に感謝申し上げます。

9月26日(月) (株)全国漁協オンラインセンター見学研修

JF マリンバンクの金融システムの中核機能として、全国の漁協のオンライン取引のデータを管理する為、厳重なセキュリティ及び地震停電対策がなされている現状を見学後、センターの概要説明と漁協の信用業務の中での役割についての講義を受けました。研修を受け入れていただきご指導くださいましたことに感謝申し上げます。

10月14日(金) 水産庁トップセミナー

水産庁長谷次長より「水産業をめぐる事情について」のご講義をいただきました。ご講義を通じ、世界の中の日本の漁業生産及び水産物消費と輸出入の現状と課題について学びました。佐藤長官への表敬訪問では、長官から学生に「これからの水産業を担う精鋭として身体に気をつけて現場でがんばってほしい」とあたたかな激励のお言葉をいただきました。また、水産経営課矢花課長、中田室長、山川課長補佐から、「漁協の現状について」の補講を通じ、漁業協同組合の組合員及び漁協経営の現状と水産庁の施策について学習をいたしました。お忙しい中、長時間にわたりご指導をいただき感謝申し上げます。

資格取得状況

入学して2カ月で6月の日商簿記3級試験に7人が合格、7月のパソコン(MOS・Word)に13人が合格しました。今後の予定は、11月に日商簿記(2・3級)、危険物乙種第4類、12月にパソコン(MOS・Excel)・ビジネス能力ジョブパス3級、1月に小型船舶(希望者)、2月に信用事業、日商簿記(2・3級)、フォークリフト(希望者)で、全員の合格を目指して受験します。

就職状況

お陰様で多くの漁協等より求人をいただき10月25日現在、6名(復職者4名・自営漁業従事予定者1名除)の就職が内定をいたしました。求人をお寄せいただきました漁協、採用をしていただきました漁協等に深謝申し上げます。また、今年度は、例年より多くの漁協系等団体から求人をいただきました。本校の現在の学生数ではご期待に添えない現状となりましたことに心からお詫びを申し上げます。

生活状況

平成26・27年度の大規模修繕・改修工事を実施し、明るく機能的となった学校内の施設や寮室等で学生は自主の寮生活を送っています。昨年度から、新たに取り入れたラジオ体操も定着しています。

第77期生は、入学当初から笑顔で挨拶ができ、積極的に学習に取り組み、目標に向い切磋琢磨しながら日々成長をしています。

一階層別研修について

ご報告

監査士養成コース

8月24日(水)～26日(金)の3日間で会計学・監査論の2科目を対象に「合格に結びつく答案練習」を公認会計士の講師の指導で実施しました。参加団体数13団体で23人のご参加をいただきました。本年度は、9月の水協組監査士試験直前講習で重要なポイントを確認することに重点を置いた研修を行いました。受講者の方々の試験合格に向けての熱心さが伝わってくる研修となりました。(開催場所：本校)

販売事業コース

9月15日(木)～16日(金)の2日間で「水産物の取引方法と流通システムを再考する～セリ・入札、相対、および定価取引～」について、東京海洋大学教授 婁 小波氏がコーディネーターを務めて実施しました。(開催場所：東京都)

講師陣は、猿払村漁協専務理事 木村幸榮氏、京都府漁協販売部次長 中西利一氏、(株)鯖や/(株)SABAR代表取締役社長 右田孝宣氏、CSN地方創生ネットワーク(株)代表取締役社長 野本良平氏、日本生活協同組合連合会産直グループマネージャー 内山和夫氏、(株)イー・ピーカンパニー常務取締役流通本部長 吉野克己氏。本年度の視察先は、CSN地方創生ネットワーク(株)羽田鮮魚センターで行いました。参加団体数41団体、62人の多くの方にご参加をいただきました。

受講者募集中 (申込締切日を変更しています)

漁業経営指導員養成講座(専門講座)

漁家経営の改善を図るため営漁指導を担当する専門家の養成・スキルアップをねらいとし、今日の水産業の抱える様々な問題や課題等の中から、今年度は主に新規漁業就業者問題に視点をあてながら漁家経営指導のあり方及び重要性についての講義等下記の日程で行います。受講者の受付を行っておりますので、ご参加のご検討をよろしくお願いいたします。

募集要項は本校ホームページに掲載中です。

研修日：11月17日(木)～11月18日(金)

場 所：全国漁業協同組合学校(千葉県柏市)

費 用：宿泊者 57,000円、通学者 50,000円

締切日：11月7日(月)

講 師：水産庁漁政部水産経営課課長補佐 山川勝彦氏

水産庁漁政部企画課課長補佐 宮内克政氏

公認会計士 岡村健司氏

東京海洋大学海洋政策文化学科准教授 工藤貴史氏

水産大学校水産流通経営学科准教授 大谷 誠氏

宮城県水産業経営支援協議会水産業経営相談室経営相談員 藤島武雄氏

—組合学校の動き—

宮城県沿岸の視察

宮城県漁協ならびに宮城県漁業経営指導協会のご協力により、7月22日～23日の2日間、吉田校長をはじめ、東京海洋大学工藤准教授以下総勢6名で宮城県漁協本所、志津川・戸倉、女川、石巻を視察いたしました。漁家経営指導の現状を把握することが目的でしたが、東日本大震災を契機に変革の途上にある南三陸町をはじめ、女川、石巻の復興状況について、実際に目にするるとともに関係者の皆様に貴重なお話を伺うことができました。お忙しい中ご対応をいただきました皆様に感謝申し上げます。

11月17日・18日に本校で実施いたします「漁業経営指導員養成講座」に反映をさせたいと思います。

同窓会新潟支部再教育セミナー

8月27日(土)新潟県水産会館において組合学校新潟支部再教育セミナーが開催されました。清田新潟支部長(新潟県漁連専務理事)から、平成22年以来6年ぶりの開催となったこの間、上越漁協に同窓生2名が増えたことが報告され、これからも同窓生の連携を深めて参りたいとのご挨拶がありました。組合学校からは学校の現況や学生募集、学校運営の考え方やホームページを活用して学校をより身近に感じてほしいことからその取り組みに着手した等、これからも同窓生のご理解とご協力のお願いをいたしました。研修は「これからの漁協職員の在り方」と題して参加者各自が所感を述べ最後に、清田支部長から「組合学校が漁協の人材育成に果たしている役割は大きい。また、漁協のニーズにより階層別研修で短期教育をしてもらっていることも有り難い。漁協職員は常に浜の目線で行動する系統運動の推進者としての役割が求められている。このことを念頭に組合学校で学んだ事を活かし共に役割をはたしてゆこう。」と結びました。

野球大会

10月15日(土)雲ひとつない快晴の柏市名戸ヶ谷(などがや)運動広場で、全漁連・共水連・農林中金有志連合チームと組合学校第77期生との交流戦が行われました。両チーム共もてる戦力を発揮し、緊迫したゲームとなりました。結果は7対4でこの交流戦を楽しみに放課後、練習を重ねた組合学校が勝利しました。全漁連・共水連・農林中金の有志の皆様にご心からお礼を申し上げます。また、来期も宜しく願い申し上げます。

ホームページ

学校をもっと身近に感じてほしい、学校の活動内容をもっと知ってほしい等を目的に学校のホームページの改善をはじめています。既に系統団体のご理解・ご協力をいただき、アクセス数も徐々に増えてきております。今後もホームページを通じて学校の最新の情報を提供していきたいと考えておりますので宜しくお願いいたします。

学生募集・各種研修会については「組合学校で検索」で検索をお願いいたします。

回								
覧								

*掲載させていただきました講師等の役職につきまして、各研修実施日現在としております。予め、ご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。